

▷ 人生うまくいく人の感情リセット術
 紫苑
 哲学的な本で、人を上手に生きていくための
 著者の流す考えが、感情リセット術が書か
 れていて、作用がある。笑う門には福来る、
 質の作笑うの意を差し出すと、好意が返ってくる。
 他にも勉強になることがたくさん書いてある
 ので、ぜひ読んでみて下さい。

▷ 余命10年 — 小坂 流加
 死ぬ前、もっとワガママで生きろと思って
 た。20歳の茉莉は、数万人に一人という不
 治の病にかかり、余命が10年であると知る。
 笑顔でなければ、周りが追い詰められない。何
 を始めても半ばで諦めなければならぬ。未
 来に対する諦めから死への恐怖は薄れ、淡々
 とした日々を過ごしていく。そして、何とな
 くはじめた趣味に情熱を注ぎ、恋はしないと
 心に決める茉莉だったが…。衝撃の結末、涙
 より切ないラブストーリー。「死ぬ準備は
 できた。だからあとは精一杯生きてやるよ」

世界から猫が消えたなら

川村 元 氣

なかなかに頭を医者に診断し
 て、腫瘍と告げられ、余命は長くて
 1年、それと世界を一周する間に
 いれど、その間に自分と公の間に
 魔と出会う。その間に、大切な人
 消すことになった。か、この世界
 る大切な人、この世界を知る。感
 に大切な人、この世界を知る。感
 動の一冊!!

図書館の神様

瀬尾 まいこ

清く正しく生きてきた「清」は、18
 歳の頃、一部に所属していたとき、
 い経験をする。それをきっかけに、
 どんたが一部に投げやりになった
 だ「鄙びた高校」の講師になった
 通りには、かず文芸部の顧問に
 そこで、垣内君と出会い、文学作
 活動を通して過去を癒やして、
 成長していく。過去を引きずって
 彼女が彼女の新しい生活を始め
 の1年を描いた青春小説。